

多言語・多文化教育研究センター 平成 23 (2011) 年度年次報告 目次

【Ⅰ. 教育】

多言語・多文化総合プログラム	1
-1 2011 年度授業内容	
多文化コミュニティ教育支援室	5
-2 ボランティア登録学生数	
-3 日本語・学習支援活動実績	
-4 国際理解教育実践校一覧	
-5 ボランティア入門講座	
-6 オープンキャンパスにおける支援室活動紹介	
-7 難民問題入門講座	
-8 高校生のための国際理解セミナー	
-9 学生コーディネーター研修	

【Ⅱ. 研究】

協働実践型研究プログラム	9
-1 研究会	
-2 多文化社会実践研究・全国フォーラム (第 5 回)	
-3 報告書の作成	
センターフェロー	10
-4 センターフェロー	

【Ⅲ. 社会連携】

多言語・多文化社会専門人材養成講座	12
-1 講座概要	
-2 日程・時間割	
-3 運営	
-4 修了者	
語学ボランティア活動	16
-5 リレー専門家相談会参加実績	
-6 登録者数	
-7 研修会の実施	

コミュニティ通訳活動	17
-8 活動実績	
-9 登録者数	
東日本大震災支援活動	18
-10 「東日本大震災 多言語翻訳・情報提供」活動報告	
-11 学生震災ボランティア活動の推進	
外国につながる子どもたちのための教材作成	25
-12 各教材ダウンロード数	
-13 教材見本の作成・配布	
【IV. 広報活動】	30
-1 メールマガジン発行状況	
-2 新聞・雑誌掲載関連記事一覧	
-3 テレビ・ラジオ出演	
【V. センターの運営】	31
-1 多言語・多文化教育研究センター運営体制	
-2 センター会議開催状況	
-3 運営メンバー	

【 I . 教育】

多言語・多文化総合プログラム

I-1. 2011 年度授業内容

<1学期>

■多言語・多文化社会論入門 I

責任者：青山 亨 火曜日 4限 113 教室

日付	テーマ	講師
4月12日	ガイダンス	青山 亨 (本学)
4月19日	ワークショップ活動。グループ分け。	木下理仁 (本学)
4月26日	留学生との交流活動(1)	岡田昭人 (本学)
5月10日	留学生との交流活動(2)	岡田昭人 (本学)
5月17日	異文化コミュニケーション	宮城徹 (本学)
5月24日	オールドカマーとニューカマー(1)	金富子 (本学)
5月31日	オールドカマーとニューカマー(2)	金富子 (本学)
6月7日	中間総括・グループワーク	青山 亨 (本学)
6月14日	外国人受け入れ政策(1)	鈴木江理子 (国土舘大学)
6月21日	外国人受け入れ政策(2)	鈴木江理子 (国土舘大学)
6月28日	受け入れ支援(1)	杉澤経子 (本学)
7月5日	受け入れ支援(2)	薦田庸子 (武蔵野市国際交流協会)
7月12日	プレゼンテーションのポイント 初級編	青山亨 (本学)
7月19日	学生グループ・プレゼンテーション(1)	青山亨 (本学)
7月26日	学生グループ・プレゼンテーション(2)	青山亨 (本学)

履修者実績：89名

■コミュニティ通訳の基礎知識・マナー

責任者：受田宏之 月曜日 2限 108 教室

日付	テーマ	講師
4月11日	ガイダンス	受田宏之 (本学)
4月18日	多言語・多文化社会とコミュニティ通訳	杉澤経子 (本学)
4月25日	コミュニティ通訳者に求められる心得・マナー	前田節子 (心理カウンセラー)
5月9日	外国人住民と行政	佐藤則義 (鶴見国際交流ラウンジ)
5月16日	外国人相談の現場における通訳実践	藤谷純子 (武蔵野市国際交流協会)
5月23日	外国人住民から見た法律制度	金秀玄 (弁護士)
5月30日	司法現場での通訳実践	内藤稔 (本学)
6月6日	グループ・ワーク	前田節子 (心理カウンセラー)
6月13日	外国人にとっての医療制度	松野勝民 (済生会神奈川県病院ソーシャルワーカー)
6月20日	医療現場での通訳実践(1)	佐藤ペティ (MIC かながわ)
6月27日	医療現場での通訳実践(2)	田中ネリ (臨床心理士)
7月4日	外国につながる子どもたちと教育	李原翔 (都立富士森高等学校)
7月11日	コミュニティ通訳のあり方を考える	内藤稔 (本学)
7月26日	まとめ	受田宏之 (本学)

履修者実績：125名 ※震災の影響で当初計画より授業回数が短縮された。

■多言語・多文化社会論（歴史と現在）

責任者：篠原琢 木曜日1限 226教室

日付	テーマ	講師
4月15日	ガイダンス	篠原琢（本学）
4月22日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在(1)	米谷匡史（本学）
5月6日	アメリカにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	佐々木孝弘（本学）
5月13日	中国における多言語・多文化社会の歴史と現在	橋本雄一（本学）
5月20日	マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	左右田直規（本学）
5月27日	インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	青山 亨（本学）
6月3日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在(2)	前田達朗（本学）
6月10日	グループ・ディスカッション	篠原琢（本学）
6月17日	中南米における多言語・多文化社会の歴史と現在	受田宏之（本学）
6月24日	ビルマにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	土佐桂子（本学）
7月1日	ドイツにおける多言語・多文化社会の歴史と現在	相馬保夫（本学）
7月8日	東欧における多言語・多文化社会の歴史と現在	篠原琢（本学）
7月15日	中南米における多言語・多文化社会の歴史と現在(2)	鈴木茂（本学）
7月22日	日本における多言語・多文化社会の歴史と現在(3)	李孝徳（本学）
7月29日	まとめ	篠原琢（本学）

履修者実績：121名

■多言語・多文化社会論（実習1）

*Add-on Program で学んだことを社会の現場で活かし、ボランティア活動を行います（「社会論入門Ⅰ」と「社会論入門Ⅱ」の両方の単位をすでに取得していることが履修条件です）。

責任者：武田千香 火曜日1限 220教室 履修者：4名

<2学期>

■多言語・多文化社会論入門Ⅱ

*日本の多言語・多文化化の現状を現場の実践者から学びます。

責任者：青山 亨 火曜日4限 113教室

日付	テーマ	講師・ゲスト
10月4日	ガイダンス	青山 亨（本学）
10月11日	日本における多言語・多文化社会（1学期のまとめ）	青山 亨（本学）
10月18日	ワークショップ。グループ分け。	木下理仁（本学）
10月25日	川崎から(1)	湯川緑（川崎市市民・こども局人権・男女共同参画室）
11月1日	川崎から(2)	金 迅野（川崎市ふれあい館）
11月8日	浜松から	松岡真理恵（財団法人浜松国際交流協会（HICE）・浜松市多文化共生センター）
11月15日	上田から	保科隆夫（上田市市民生活部・市民課長）
11月29日	グループディスカッション：地域から	長谷部美佳（本学）
12月6日	医療の現場から	山本裕子（SHARE 国内保健事業部）
12月13日	法律の現場から	山口元一（弁護士）
12月20日	行政の現場から	ヨコヤマ・マルコス（静岡県）
1月17日	日本語教育の現場から	北村祐人（名古屋大学留学生センター、とよた日本語教育学習システム）
1月24日	グループディスカッション：現場から	長谷部美佳（本学）
1月31日	学生グループ・プレゼンテーション(1)	青山 亨（本学）
2月7日	学生グループ・プレゼンテーション(2)	青山 亨（本学）

履修者実績：50名

■多言語・多文化社会論 (社会・文化)

責任者：大川正彦 月曜日2限 107教室

日付	テーマ	講師
10月17日	ガイダンス	大川正彦 (本学)
10月24日	多言語・多文化主義の歴史的背景	大川正彦 (本学)
10月31日	多言語・多文化主義とエスニシティ	大川正彦 (本学)
11月7日	ネイションとエスニシティ	大川正彦 (本学)
11月14日	アイデンティティとエスニシティ	大川正彦 (本学)
11月21日	レイシズム	大川正彦 (本学)
11月28日	マジョリティを相対化する(1) ろう文化	市田泰弘 (国立障害者 リハビリテーションセンター)
12月5日	マジョリティを相対化する(2)アイヌ	大川正彦 (本学)
12月12日	マジョリティを相対化する(3) 部落	友常勉 (本学)
12月19日	日本における他者性の歴史	大川正彦 (本学)
12月26日	討議	大川正彦 (本学)
1月16日	多言語・多文化社会における不安・恐怖・暴力	大川正彦 (本学)
1月23日	アジアのなかの日本、日本の中のアジア (1)	金優綺 (在日本朝鮮人人権協会)
1月30日	アジアのなかの日本、日本の中のアジア (2)	熊谷伸一郎 (岩波書店『世界』編集部)
2月6日	総括—全体を振り返って	大川正彦 (本学)

履修者実績：16名

■多言語・多文化社会論 (政策と法)

*日本国内の外国人にかかわる政策と法について学びます。

責任者：受田宏之 金曜日2限 226教室

日付	テーマ	講師
10月7日	ガイダンス	受田宏之 (本学)
10月14日	世界の人の移動と移民政策	橋本直子 (国際移住機関)
10月21日	日本の外国人・移民政策への視点	渡戸一郎 (明星大学)
10月28日	外国人住民の生活をめぐる問題(1)外国につながる子どもの教育	佐久間 孝正 (立教大学名誉教授)
11月4日	日本の難民政策をめぐる問題	寺中誠 (東京経済大学客員教授)
11月11日	先住民族政策をめぐる問題	上村英明 (恵泉女学園大学)
11月25日	外国人が直面する法律問題	関 聡介 (弁護士)
12月2日	外国人住民の生活をめぐる問題(2)言語政策	野山広 (国立国語研究所)
12月9日	外国人住民の生活をめぐる問題(3)労働・社会保障	鳥井一平 (全統一労働組合)
12月17日	多言語・多文化社会と犯罪	太田達也 (慶応義塾大学)
1月20日	外国人住民の生活をめぐる問題(4)自治体の視点から	北脇保之 (浜松海の星高等学校)
1月27日	外国人市民の政治参加と市民権(2)国際比較	近藤敦 (名城大学)
2月3日	外国人市民の政治参加と市民権(1)日本の歴史と現状	田中宏 (一橋大学)

履修者実績 193名

■多言語・多文化社会論（言語技能入門Ⅱ）

講義科目名	講師	曜日・時限	教室	履修者数
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：英語）	前田節子	金曜2限	112	17
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：朝鮮語）	宣 元錫	月曜1限	111	21
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：スペイン語）	イングリッド・ロベルト・カリスト	月曜4限	112	11
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：中国語）	小藺瑞恵	水曜3限	305	16
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：ポルトガル語）	岸和田明子	木曜5限	212	4
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：フィリピン語）	高野邦夫	金曜5限	110	5
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：インドネシア語）	スリナリ・ネスタリ → 竹下	木曜5限	408	7
多言語・多文化社会論（コミュニティ通訳実践：ベトナム語）	秋葉亜子	水曜4限	106	12

■わたしの多言語・多文化社会論（プレゼンテーション）

責任者：岡田昭人 木曜日2限 106教室

履修者1名

多文化コミュニティ教育支援室

I-2. ボランティア登録学生数

所属	課程	専攻語	内訳				計	
			在学生(学年別)					
			1	2	3	4		
外国語学部	欧米第一課程	英語	3	4	6	9	22	
		ドイツ語	1	9	8	14	32	
	欧米第二課程	フランス語	5	1	10	5	21	
		イタリア語	1	0	0	3	4	
		スペイン語	7	12	4	16	39	
		ポルトガル語	5	21	12	19	57	
	東南アジア課程	インドネシア語	1	1	3	5	10	
		マレーシア語	3	0	1	1	5	
		フィリピン語	5	5	9	2	21	
		タイ語	3	3	3	4	13	
		ラオス語	0	1	1	3	5	
		ベトナム語	5	3	2	3	13	
		カンボジア語	6	3	2	12	23	
		ビルマ語	1	0	0	5	6	
	南・西アジア課程	ウルドゥー語	2	0	3	7	12	
		ヒンディー語	2	4	3	4	13	
		アラビア語	1	1	3	3	16	
		ペルシア語	1	1	7	9	18	
		トルコ語	1	2	5	4	12	
	ロシア・東欧課程	ロシア語	0	8	9	10	27	
		チェコ語	0	2	0	4	6	
		ポーランド語	2	0	0	4	6	
	東アジア課程	中国語	3	8	11	16	38	
		朝鮮語	2	12	14	18	46	
		モンゴル語	2	0	5	4	11	
	日本課程	日本語	5	5	9	13	32	
	合計(学部生)			67	106	130	197	508
	大学院							45
	留学生(留学生日本語教育センター)							5
	合計(全て)							558人

(2012年3月末日現在)

I-3. 日本語・学習支援活動実績

形態	地域	学校・施設数	対象児童数	参加学生ボランティア数(延べ)	
学校内 学習支援	府中市	8	15	19	
	武蔵野市	1	1	1	
	川崎市	2	3	3	
	足立区	1	1	1	
	文京区	1	2	3	
形態	地域	学校・施設	対象	対象児童母語	参加学生ボランティア数(延べ)
日本語教室	府中市	府中国際交流 サロン	小・中学生	中国語 フィリピン語 など	16
	調布市	調布市立学校 日本語指導教 室	小・中学生	同上	13
	武蔵野市	すてっぷルー ム	小・中学生	同上	3
	新宿区	こどもクラブ 新宿	小・中学生	同上	1

I-4. 国際理解教育実践校一覧

地域	小/中/高	学校名	対象	実施日	参加学生
川崎市	小/中	はるひ野 小中学校	小学校5年生 ×3クラス	6月24日(金)	7人
			中学校1年生 ×3クラス	10月27日(木) 11月22日(火) ※外語祭訪問	12人
			小学校6年生 ×3クラス	3月2日(金)	6人
	高	橘高等学校	1年生×1クラス	3月7日(水)	2人
			2年生×1クラス	3月15日(木)	1人
町田市	中	真光寺中学校	2年生 約25名	7月2日(土)	6人

I-5. ボランティア入門講座 実施概要

国際理解教育・学習支援 ボランティア入門講座

日程	時間	場所	対象	参加人数	内容
①4月29日(金) ②5月21日(土) 同じ内容で2回実施	10:10~17:30	① アゴラ・プロジェクト スペース ② 104教室	本学学生	① 27人 ② 21人	以下参照

国際理解教育					
10:10-11:40	ワークショップ体験 (参加型学習の手法いろいろ)	木下理仁(本学 国際理解教育専門員)			
昼休み	ビデオ上映(過去の活動の紹介)				
12:40-14:10	ワークショップ 「ピンくんに何が起きたのか?」				

日本語・学習支援		
14:20-15:50	学習支援って何?～支援者に求められること 子どもの状況を知る「ネットワーク図」 学生による活動報告(地域学習支援教室にて)	奈良部年子(本学 学習支援専門員) 青山 亨(本センター長)
16:00-17:30	学習支援の可能性～異文化理解の観点から 日本の学校に通うということ「学校からの連絡」 学生による活動報告(学校にて)	

I-6. オープンキャンパスにおける支援室活動紹介

学習支援と国際理解教育の実践紹介

対象：オープンキャンパス参加者

発表者：学生ボランティア

日程	場所	内容	参加学生数
7月23日	208教室	日本語・学習支援	6
		国際理解教育	4
11月20日	208教室	日本語・学習支援と国際理解教育	10

I-7. 難民問題入門講座

日程	時間	内容	参加学生数	講師
6月15日(水)	14:20-15:50	① 難民の立場を理解するためのワークショップ ② 難民問題の基礎知識	21人	鹿島美穂子さん (特定非営利活動法人 難民支援協会 (JAR) 広報部長)
	16:00-17:30	① NGO(難民支援協会)の活動紹介 ② ボランティア希望者への説明	12人	

I-8. 高校生のための国際理解セミナー

日程	時間	場所	対象	大学生 参加人数	内容
12月24日(土) ～25日(日)	以下参照	113教室	高校生 38人	11人	以下参照

1 日 目	24日 (土)	10:30～11:00	受付
		11:00～11:20	開会式
		11:20～12:40	アイス・ブレイキング、「他己紹介」
		12:40～13:30	昼食・休憩
		13:30～16:00	ゲスト(6人)との交流
		16:10～16:45	高校生によるゲストの紹介
		17:00～18:00	交流会(夕食)
		18:00～19:00	自由交流会(希望者のみ)

2 日 目	25日 (日)	09:00~09:50	キャンパス・ツアー (希望者のみ)
		10:00~10:30	アイス・ブレイキング、1日目のふりかえり
		10:30~11:45	レクチャー「多文化共生とは」 講師：長谷部美佳 (多言語・多文化教育研究センター特任専任講師)
		11:45~12:45	昼食・休憩
		12:45~15:00	グループ・ディスカッション、ビデオ・レター作り
		15:10~16:00	ビデオ・レター発表
		16:00~17:00	2日間のふりかえり、閉会式
		17:30~18:30	セミナー報告書の作成 (希望者のみ)

I-9. 学生コーディネーター研修

参加人数6人 (修了人数3人)

	日程	内容
1	9月29日(木)	活動振り返り、課題設定
2	10月14日(金)	課題解決のための企画案
3	10月25日(火)	府中市における社会人対象国際理解教育講座
4	11月29日(火)	企画ミーティング
5	1月11日(水)	フィールドワーク事前研修
6	1月14日(土)	フィールドワーク (静岡県浜松市)
7	1月19日(木)	府中市における社会人対象国際理解教育講座 企画ミーティング(府中市と)
8	1月24日(火)	府中市における社会人対象国際理解教育講座企画 企画ミーティング(留学生と)
9	1月26日(木)	
10	1月31日(火)	
11	2月3日(金)	
12	2月20日(月)	府中市における社会人対象国際理解教育講座企画 企画ミーティング(府中市と 府中市役所にて)
13	2月21日(火)	
14	2月27日(月)	府中市における社会人対象国際理解教育講座企画 企画ミーティング(留学生と)
15	3月10日(土)	府中市における社会人対象国際理解教育実施(府中国際交流サロンにて) 学生11人参加(内留学生4人)
16	3月30日(金)	全体振り返り レポート提出

【Ⅱ. 研究】

協働実践型研究プログラム

Ⅱ-1. 研究会

	多文化社会 コーディネーター研究会	コミュニティ通訳研究会	基礎研究会
4月			
5月			
6月			
7月	23日/第1回	9日/第1回	9日/第1回
8月			
9月	16日/第2回		28日/第2回
10月		29日/第2回	
11月	14日/第3回		16日/第3回
12月	10日/第4回		5日/第4回
1月			10日/第5回 17日/第6回
2月	27日/第5回	11日/第3回	9日/第7回
3月			9日/第8回

Ⅱ-2. 多文化社会実践研究・全国フォーラム（第5回）

テーマ：多文化社会に求められる専門人材像—東日本大震災から学ぶ—

実施日：2011年11月26日（土）・27日（日）

会場：東京外国語大学 研究講義棟

参加者数：300人

	セッション名	テーマ	参加人数
2011 年 11 月 26 日	基調講演&パネルトーク	基調講演 グローバル化時代の人材育成と多文化社会的想像力 パネルトーク 多文化社会と専門職教育～本学だからこそ の専門職教育のあり方を探る	100
	ランチタイムセッション	発題者/グループ 4組	82
	パネルディスカッション I	東日本大震災—その時、現場で何が起こったか ～「多文化共生」の行方	120

	懇親会		51
2011 年 11 月 27 日	パネルディスカッションⅡ	多言語対応の必要性和コミュニティ通訳の役割 ～司法通訳および東日本大震災における翻訳・通訳の実践事例から	102
	発表セッション	・個人発表 11名 ・グループ発表 5グループ	102 87
	パネルディスカッションⅢ	「多様性」への対応～「協働」を創り出す人材の必要性和そのあり方	102

Ⅱ-3. 報告書の作成

多文化社会実践研究・全国フォーラム(第5回)の報告書を1,000部印刷し、全国の国際交流協会および自治体に配布。センターホームページにも掲載。

http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/2012/05/post_235.html

センターフェロー

Ⅱ-4. センターフェロー

採用実績：第7期 応募数23人 委嘱数12人

(2011年4月20日委嘱 任期：2011年4月20日～2012年3月31日)

氏名	所属
晏 晴	
江原美恵子	早稲田大学日本語教育研究センターインストラクター、聖学院大学基礎総合学部非常勤講師
菊池哲佳	財団法人仙台国際交流協会
北村祐人	国立大学法人名古屋大学留学生センター
武田里子	放送大学非常勤講師、明星大学非常勤講師
田室寿見子	劇団 Sin Titulo 代表、可児市文化創造センター「多文化共生プロジェクト」ディレクター
崔 英善	慶應義塾大学SFC研究所上席所員、外国人親たちの学習教室代表
奈良雅美	社会福祉法人大阪ボランティア協会
白村直也	東京ビジネス外語カレッジ非常勤講師
宮崎妙子	特定非営利活動法人国際活動市民中心、公益財団法人武蔵野市国際交流協会
吉田聖子	あけぼの会日本語教室常勤ボランティア
柳 蓮淑	お茶の水女子大学人間文化創成科学研究所、法政大学非常勤講師

活動実績：

氏名	全国フォーラム（第5回）での発表		研究誌 Vol. 4	
	応募タイトル	発表形式	論文投稿	掲載論文タイトル
晏 晴	「かれら」と「われわれ」について考える	個人		
江原美恵子	地域日本語教育システムのコーディネーションへの示唆②～地域日本語コーディネーターの専門性に焦点をあてて	グループ	○	
菊池哲佳	地域日本語教育システムのコーディネーションへの示唆①～さまざまな支援事業とコーディネーターの役割	グループ	○	地域日本語教育分野における多文化社会コーディネーターのあり方—仙台市における「外国につながる子ども」の支援をめぐる—
北村祐人	地域日本語教育システムのコーディネーションへの示唆②～地域日本語コーディネーターの専門性に焦点をあてて	グループ	○	地域日本語教育におけるシステム・コーディネーターの役割—とよた日本語学習支援システムでの事例を参考に—
武田里子	ニューカマー韓国人のライフストーリー記録集作成プロジェクト—日韓両国市民の対話をより前進させるための課題—	個人		
田室寿見子	在留外国人による多文化共生のための演劇ワークショップと雇用の創出—可児市の防災ワークショップを事例として—	個人	○	
崔 英善	地域日本語教育システムのコーディネーションへの示唆①～さまざまな支援事業とコーディネーターの役割	グループ	○	
奈良雅美	地域日本語教育システムのコーディネーションへの示唆①～さまざまな支援事業とコーディネーターの役割	グループ	○	
白村直也	ロシアと日本における「ろう文化」をめぐる温度差と手話通訳者の位置づけをめぐる	個人	○	チェルノブイリ原発事故後の民間医療支援活動をめぐって—支援ニーズ把握のための情報収集と支援のあり方を中心に—
宮崎妙子	地域日本語教育システムのコーディネーションへの示唆②～地域日本語コーディネーターの専門性に焦点をあてて	グループ	○	日本語コースから始まった被災地支援活動—地域日本語教室の社会参加への試み—
吉田聖子	多文化社会に求められる専門人材 双方向型活動を支える人材養成の課題に対する多様な解決案	発表なし	○	
柳 蓮淑	村の多文化共生政策と韓国人妻の役割—山形県 S 村のキムチ特産品化と高麗館を中心に—	個人		

【Ⅲ. 社会連携】

多言語・多文化社会専門人材養成講座

Ⅲ-1. 講座概要

場所	東京外国語大学 府中キャンパス
日程	共通必修科目 2011年8月26日(金)～29日(月) 専門別科目 【多文化社会コーディネーターコース】 秋期 2011年9月23日(金・祝)～25日(日) 個別実践研究期間 2011年10月～2012年1月 冬期 2012年2月19日(日)・20日(月) 【コミュニティ通訳コース】 2011年10月8日(土)～10日(月・祝)
対象者	●多文化社会コーディネーターコース 行政、国際交流協会、公益団体、企業、地域日本語教室等、多言語・多文化に関する業務や活動を行っている組織の中堅スタッフ ●コミュニティ通訳コース 外国語の語学力があり、自治体、学校、国際交流協会、NPOなどの外国語相談や通訳など、現場の実戦経験(ボランティアも可)がある者

応募状況

	多文化社会コーディネーター コース	コミュニティ通訳 コース	2コース計
定員	10	20	30
応募者数	18	16	34
合格者数	10	15(辞退者1)	25
修了者数	10	15	25

モニタリング実施状況

多文化社会コーディネーターコース	10人
------------------	-----

Ⅲ-2. 日程・時間割

共通必修科目 2011年8月26日(金)～29日(月)

8月	9:00-10:40	11:00-12:40	13:40-15:20	15:40-17:30
26日(金)	(10:00-12:00) ・開講あいさつ 武田千香 ・オリエンテーション ・多言語・多文化社会における専門人材とは 杉澤経子	(13:00-14:40) 言語と文化1 多文化社会における文化とは 栗田博之	(15:00-) ワークショップ1 ●応募時の小論文をベースに自己紹介 ●振り返り	
27日(土)	言語と文化2 多文化社会における宗教とは 青山亨	言語と文化3 多文化社会における言語とは 藤井毅	多言語・多文化社会論1 多文化社会と国際理解教育 山西優二	ワークショップ2 ●実践を語り聴く 三輪建二
28日(日)	多言語・多文化社会論2 異文化ストレスと日本の医療システム 阿部裕	多言語・多文化社会論3 韓国から見た日本の多文化共生政策 宣元錫	多言語・多文化社会実践論1 在留資格制度と その実務 近江愛子	ワークショップ3 ●レポートの書き方 青山亨 ●振り返り
29日(月)	言語と文化4 日本語教育と年少者教育 小林幸江	多言語・多文化社会実践論2 福祉・ソーシャルワーク 妻鹿ふみ子	多言語・多文化社会実践論3 ボランティア・協働・ネットワーク 後藤麻里子	●全体振り返りと まとめ 杉澤経子

専門別科目

【多文化社会コーディネーターコース】

秋期 2011年9月23日(金・祝)～25日(日)

9月	10:00-	10:30-	15:50	16:00-17:00	-17:30
23日(金・祝)	オリエンテーション	プレゼンテーション (レポート発表を中心に) 【15分発表+10分質疑】		講評・論文の書き方 青山亨	振り返り
24日(土)	9:00-12:00 コーディネーター論 基礎的実践・中核的実践 杉澤経子		13:00-14:00 震災時の コーディネーション 菊池哲佳	-17:00 ワークショップ 協働の事業づくり～シミュレーション 杉澤経子	
					振り返り
25日(日)	9:00-11:40 アクションプランづくり 杉澤経子		12:40-16:00 アクションプラン発表 個別実践研究に向けて 【発表5分・質疑応答10分】		16:15-17:30 全体 振り返り 杉澤経子

冬期2012年2月19日(日)・20日(月)

2月	9:00-	12:00	-1730
20日(日)	オリエンテーション	プレゼンテーション (小論文の発表を中心に)	振り返り
21日(月)	プレゼンテーション (小論文の発表を中心に)	コーディネーター論 まとめ 杉澤経子	全体講評 藤井毅 振り返り 修了証授与

【コミュニティ通訳コース】

2011年10月8日(土)～10日(月・祝)

10月	9:00-10:30	10:50-12:20	13:10-14:40	15:00-16:30	-17:30
8日(土)	10:00-10:40 オリエンテーション	災害時における多言語情報とコミュニティ通訳・翻訳の必要性 須藤伸子	コミュニティ通訳 概論 内藤稔	課題・レポート講評 鶴田知佳子 内藤稔	振り返り
9日(日)	通訳概論 鶴田知佳子	基礎知識①医療分野 押味貴之	※204教室 通訳のマナーと通訳技法の基礎 内藤稔		
10日(月・祝)	基礎知識② 行政・教育分野 山野上麻衣	基礎知識③ 司法分野 依田公一	※204教室 演習(～15:00) (ロールプレイング ピアレビュー他) 内藤稔	15:00～ 振り返り	16:00～到達度チェック 17:00～講評・まとめ 修了証授与 武田千香

Ⅲ-3. 運営

専門人材養成会議開催状況

日程	時間	場所
10月17日	14:20-15:50	本センター会議室
2月9日	12:40-14:10	
3月9日	14:20-15:50	

選考会議開催状況

7月18日	14:20-15:50	本センター会議室
-------	-------------	----------

Ⅲ-4. 修了者

※所属・肩書きは修了時のもの

多文化社会コーディネーターコース(第4期)

氏名	所属
青柳りつ子	多言語行政書士協会
亀井鈴子	栃木県産業労働観光部国際課
楠本順子	府中市市民生活部市民活動支援課
佐藤エバートン文雄	長浜市企画部市民自治振興課

関 淳一	上田市市民生活部市民課
高柳香代	公益財団法人宮崎県国際交流協会
三喜一史	特定非営利活動法人青少年自立支援センター
宮澤イザベル	予防福祉クリニック多文化共生医療相談室
宮澤千澄	横浜市教育委員会事務局 西部学校教育事務所
山本ゆみ	新宿外国人総合相談支援センター

コミュニティ通訳コース(第2期)

※内14人がコミュニティ通訳として登録

【言語別受講者数】

英語	6	ポルトガル語	2	韓国・朝鮮語	1
中国語	3	スペイン語	2	ベトナム語	1

【属性】

自治体	2	企業	3	その他	6
国際交流協会	3	教育	1		

語学ボランティア活動

Ⅲ-5. リレー専門家相談会 参加実績

相談会への参加回数：8回

参加人数：延べ33人

言語数：12言語（英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、台湾語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ベンガル語）

参加した相談会	6月19日(日)	文京シビックセンター4階シルバーホール 主催/文京多言語サポートネットワーク	スペイン語、ベトナム語、 タイ語、インドネシア語
	9月10日(土)	板橋区立グリーンホール 主催/財団法人板橋区文化・国際交流財団	英語、タイ語
	9月11日(日)	東村山市立中央公民館 主催/東村山地球市民クラブ	スペイン語、中国語
	10月2日(日)	国分寺労政会館4階 主催/国分寺市国際協会	中国語、タイ語
	10月22日(土)	弁護士会館12階講堂 主催/関東弁護士会連合会	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、台湾語、タイ語、ベンガル語
	11月6日(日)	南千住駅前ふれあい館 主催/荒川区国際交流協会	フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語、モンゴル語、タイ語
	11月27日(日)	調布市文化会館たづくり12階 主催/調布市国際交流協会	スペイン語、タイ語
	3月17日(土)	すみだリバーサイドホールアトリウム 主催/墨田区区民活動推進部文化振興課文化・国際担当、 墨田区国際化推進クラブ	フランス語、タイ語

Ⅲ-6. 登録者数 (2012年3月30日現在)

登録者総数：25言語138人

属性：

教員	11	OBOG	87
職員	3	元職員	3
大学院生	34	計	138人

言語別：

英語	44	朝鮮語	9	ビルマ語	2
ドイツ語	8	モンゴル語	2	ヒンディー語	2
フランス語	8	インドネシア語	9	ペルシア語	1
イタリア語	2	マレー語	3	トルコ語	5
スペイン語	19	フィリピン語	5	ルーマニア語	1

ポルトガル語	10	タイ語	5	ネパール語	1
ロシア語	2	ラオス語	2	ベンガル語	1
チェコ語	1	ベトナム語	5		
中国語	26	カンボジア語	1	計	174人

※複数言語登録者あり

Ⅲ-7. 研修会の実施

対象：語学ボランティア登録者、コミュニティ通訳登録者、外国人支援ネットワーク加盟団体登録者

実施日	場所	内容	参加人数
2月24日 (土)	本郷サテライト セミナールーム	在留管理制度に関する研修会 講師：福本卓也氏(東京入国管理局総務課広報担当係長) 面本修作氏(東京入国管理局総務課入国警備専門官)	21

コミュニティ通訳活動

Ⅲ-8. 活動実績

※2012/3/30 現在

		依頼件数	参加人数	言語数	対応言語
通訳	法律相談会	4	17	7	英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語 タイ語※、ペルシア語※、タミル語※
	個別相談	27	26	3	中国語、モンゴル語、ベンガル語
翻訳	法律事務所	7	7	5	英語、ポルトガル語、中国語、朝鮮語、タイ語※
	弁護士会	3	8	4	英語、スペイン語、中国語、タイ語※
	自治体	1	1	1	ベンガル語
計		42	59	10	

※本学関係者が参加

Ⅲ-9. 登録者数： 9言語 37人

内訳：

英語	11	モンゴル語	1
スペイン語	4	インドネシア語	1
ポルトガル語	8	ベトナム語	2
中国語	7	ベンガル語	1
韓国・朝鮮語	2	合計	37人

東日本大震災支援活動

Ⅲ-10. 「東日本大震災 多言語翻訳・情報提供」活動報告

2011年6月30日

未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」。本センターでは、有志で「災害多言語翻訳支援チーム」を立ち上げて、仙台市の災害情報、放射線被曝に関する基礎知識、入管情報を、日本語を含めて最多で22言語に翻訳しました。また、センターのウェブサイトに「多言語災害情報支援サイト」を立ち上げてインターネットでの情報提供も行いました。以下、活動の概略を報告します。

1. 災害情報の多言語翻訳支援活動

【経緯】3月11日(金)コミュニティ通訳登録者(9言語、23人)に、12日に外大OB・OG・教職員・大学院生が登録している語学ボランティア(26言語、121人)に呼びかけ、翻訳支援チームを立ち上げる。

【活動期間】3月12日～4月3日(3週間)

【活動参加者】126人

男女：男28 女98

外国人：18人/インドネシア、タイ、中国、ブラジル、ロシア、韓国、インド?)

居住国：イギリス、イタリア、オーストラリア、韓国、スペイン、タイ、ドイツ、フランス、ベトナム、ロシア(把握している分のみ)

【翻訳言語】21言語(日本語以外)/イタリア語、インドネシア語、英語、韓国語、カンボジア語、スペイン語、タイ語、中国語、ドイツ語、ヒンディー語、ビルマ語、フィリピン語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシア語、ポルトガル語、ポーランド語、マレーシア語、ルーマニア語、ロシア語

【翻訳内容】

●仙台市からの災害情報(仙台市災害対策本部発信)

ライフライン、病院、交通、給水・ごみ・下水道・ガス、火災予防、市役所手続き、児童施設、災害ダイヤル、ボランティアセンター立ち上げ、ごみの収集、がれき置き場、長距離バス、高速バス、り災証明申請書、建物被害認定調査

13日/ライフライン情報、病院情報

14日/交通情報、給水・ごみ・下水道・ガス、火災予防、市役所手続き、児童施設

14日/災害ダイヤル、ボランティアセンター、

15日/ごみの収集、がれき置き場、

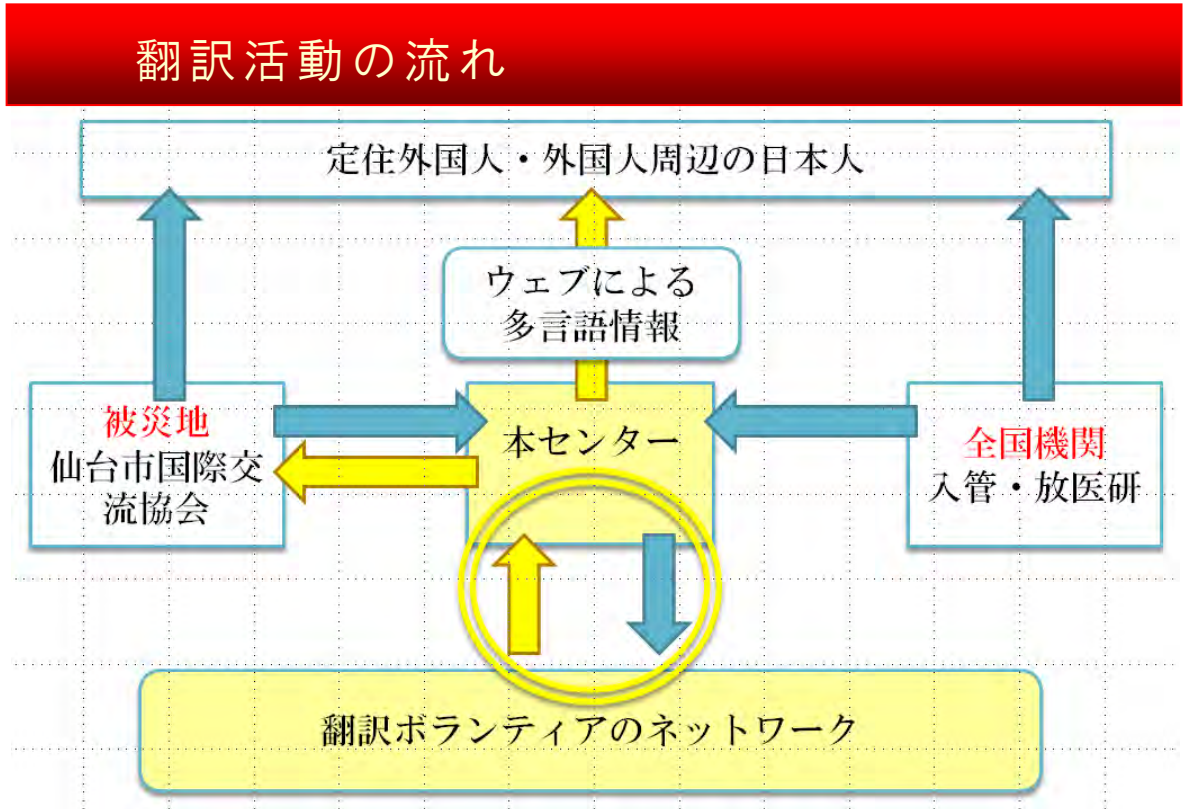
16日/長距離バス、高速バス

り災証明申請書

27日/建物被害認定調査

- 放射線被曝に関する基礎知識 I～V (放射線医学総合研究所・情報)
- 入国管理局からのお知らせ 1～3
- 日弁連・被災外国人のための電話法律相談チラシ

【翻訳活動の流れ】



2. 「多言語災害情報支援サイト」での情報提供

当初は本センターホームページ上で、さらに3月25日からは災害情報専用の「多言語災害情報支援サイト」を立ち上げて、上記1で翻訳したものを掲載し情報提供を行った。

【情報提供期間】 3月15日～6月30日

【多言語情報サイトの周知】

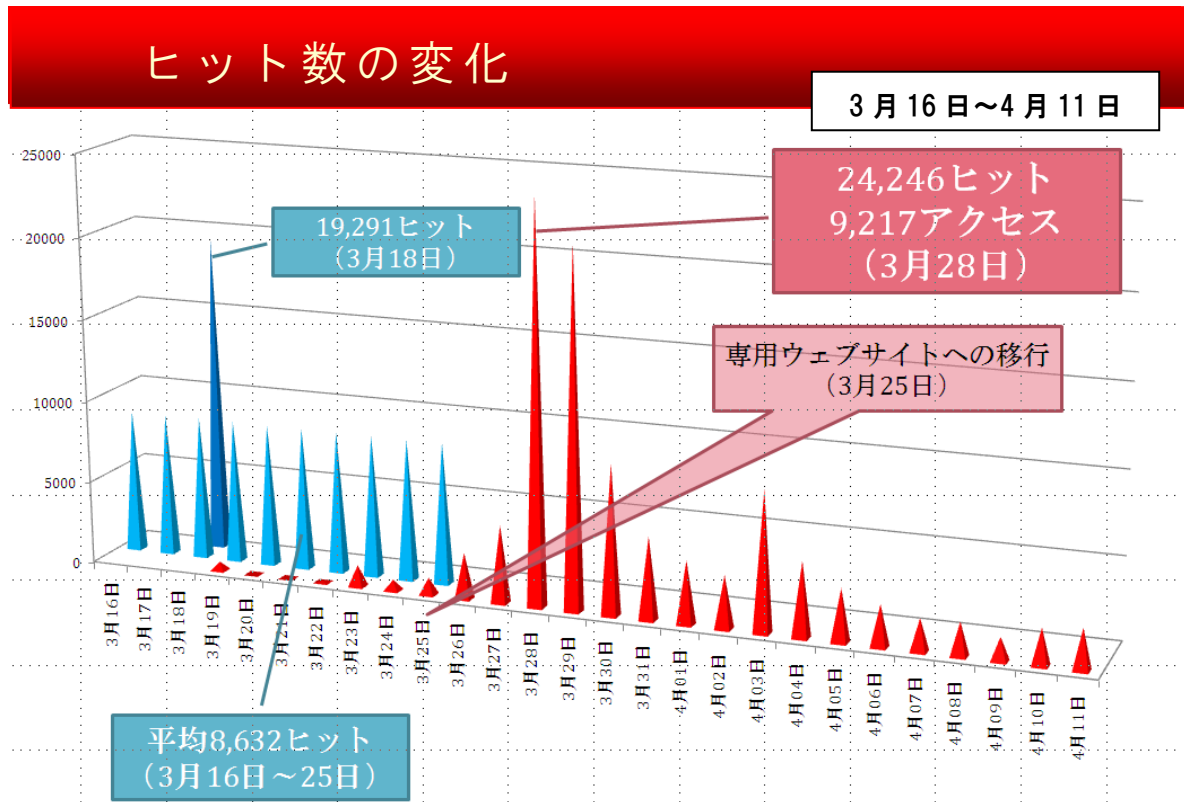
●センターのメールマガジン配信(3回) <号外> 3月16日、18日、23日

●マスコミ等

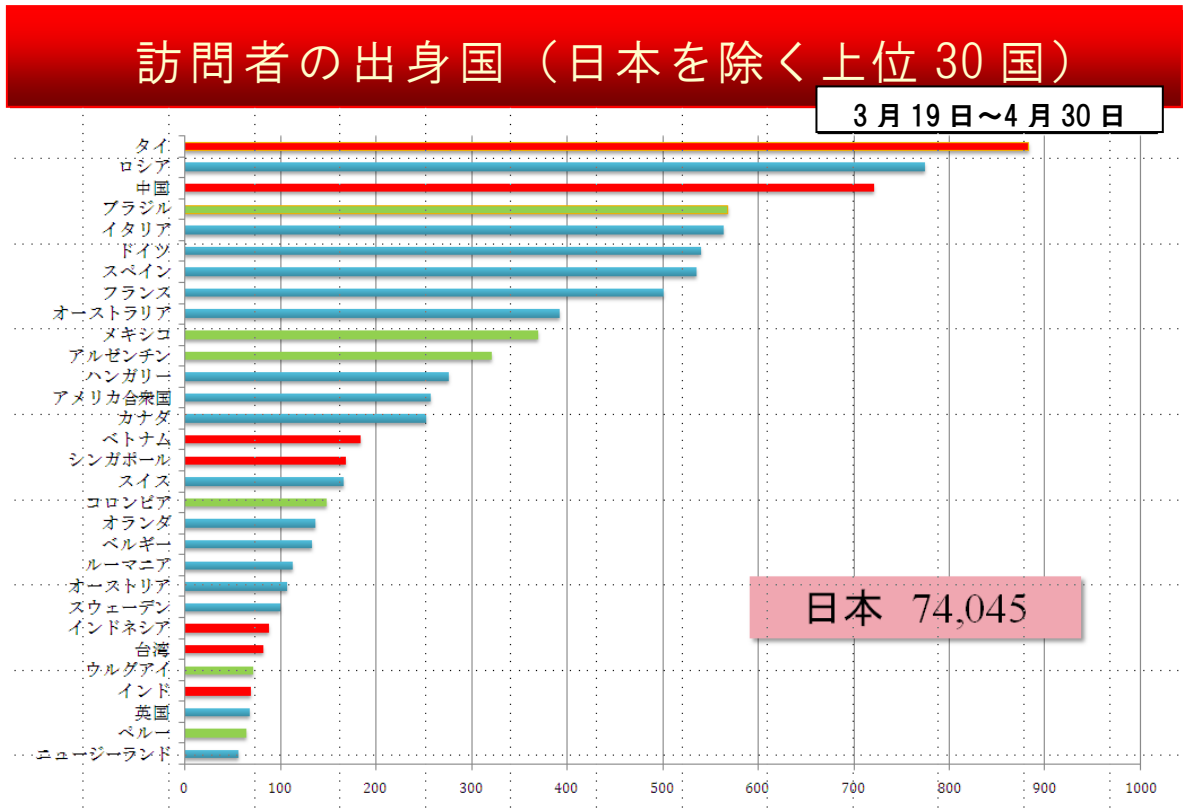
Japan Times	3月19日
日本経済新聞(社説)	3月22日掲載
毎日新聞	3月25日掲載
NHK 昼のニュース	3月28日(インタビュー映像)、29日(文字テロップ) 放映
週刊ST	4月1日掲載
朝日新聞	5月25日掲載
国際人流	7月号掲載
その他、時事通信、電気新聞、科学新聞の取材あり	

【アクセス数】 3月16日～25日の10日間/合計86,322件(最多 18日(金) 19,291件)
3月末日までの最多ヒット24,246件。
4月3日の翻訳活動終了とともにアクセス数は減少。

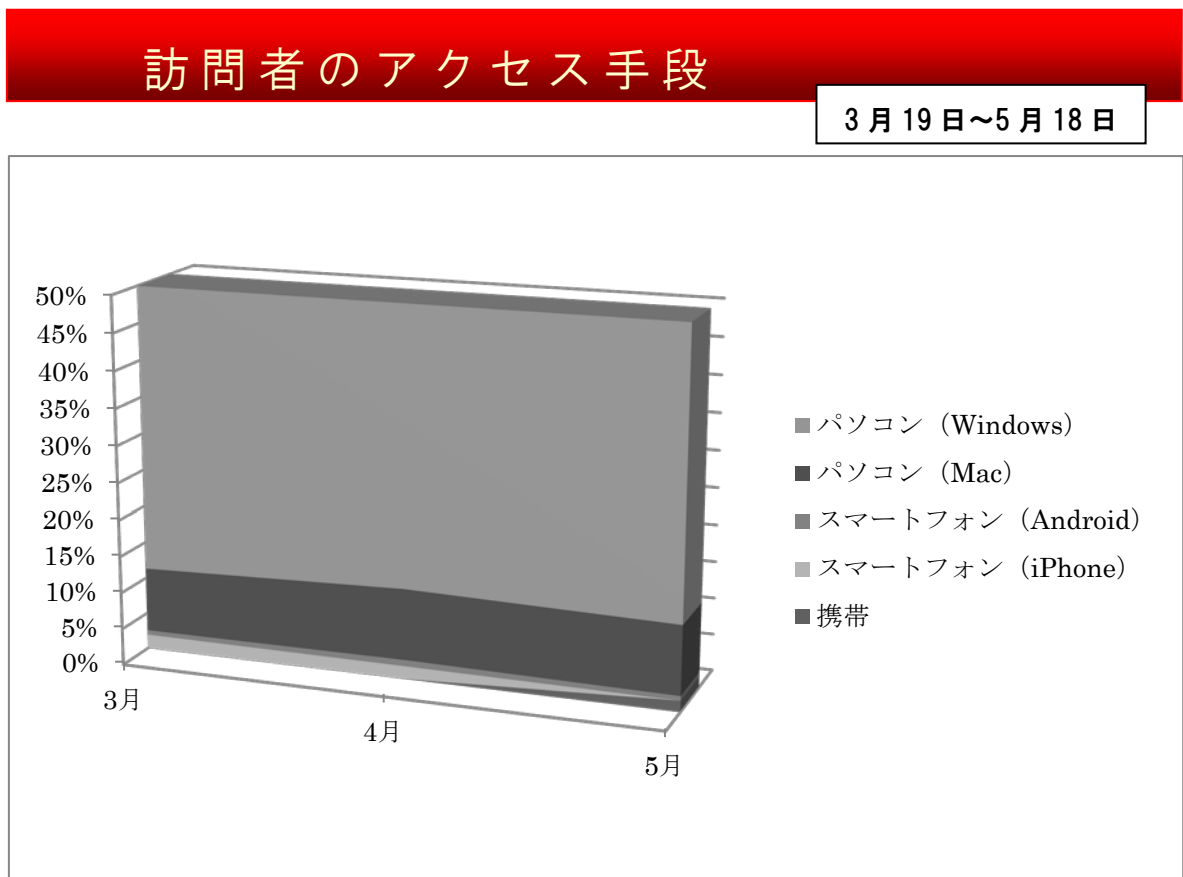
●ヒット数の変化



●訪問者の出身国



●訪問者のアクセス手段



3. 利用者からのフィードバック

外国人の身近にいる日本人数人からお礼のメールをいただきました。以下、お二人からご本人の了解を得られたものを紹介します。

- インドネシアの国営放送では『放射能は 10 時間で東京上空に到着する。人体に影響のある量である』と報じたらしく国の親御さんたちがパニックになっています。こんなとき、少しでも母語の情報が安心材料だと思います。(東京都在住)
- 両親がベトナムの方と一緒に仕事をしているのですが、今回の震災についてベトナム人の方々が大変不安を持っておりました。日本人でも難しい今回の原発他の情報は、いくら報道を見ても安心できず、本国からは帰って来いと急かされ、本人たちも帰りたくと泣くばかりでした。ベトナム語の翻訳はなかなか見つからず、ほとんど困っているときに、こちらのサイトを見つけ大変助けられました。多少余裕も出来たようで、コピーして友人同士で読んだりしていたようです。(栃木県在住)

4. 被災外国人のための電話法律相談・トリオフォン通訳

本センターでは、日常的に外国人のための専門家相談会などに参加し、生活者としての外国人への支援活動を行っています。こうした活動で連携関係のある弁護士会からの依頼でトリオフォンを使っての被災者向け法律相談に通訳の協力をしました。

主催：日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会・東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会

協力：東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター

【活動期間】 3月29日～7月29日(4ヶ月)

【活動者実数】 29人(内外国人8人)

4月4日(月)に大学院生向け説明会(10人参加)

【待機言語】 15言語(英語、中国語、韓国語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、フィリピン語、ベトナム語、ベンガル語、ビルマ語、ルーマニア語、ヒンディー語、ポーランド語)

【相談件数*】 全体で129件

【相談者国籍等*】 多い順に、ブラジル、中国、フィリピン、ペルー、米国、韓国など21カ国、ほか帰化者、無回答者

【相談内容*】 相談件数の多い順に、震災以外、労働問題、在留資格、帰国、離婚・親族、不動産賃貸借(借家)など

(*=2011年11月27日東京外大「多文化社会実践研究全国フォーラム」
関聡介弁護士配布資料による)

5. 活動から見えてきたこと

1 顔の見えるネットワーク構築の重要性

平常時にそれぞれの組織のコーディネーター間に顔の見える関係が築かれていたことにより、作業の効率化が図れた。

2 海外居住者とのネットワークの可能性

インターネットの普及によって国内のみならず多くの海外居住者が参加した。そのため、地域によっては計画停電が行われ作業が頻繁に滞る中、日本で作業ができない時には海外居住者が翻訳を行うという役割分担ができた。

3 「地域の(ローカルな)情報」と「国レベルの情報」の翻訳の必要性

東日本大震災では原発事故により、国レベルの情報の翻訳ニーズが高まった。

4 「正確性」と「迅速性」を担保する仕組みづくりの必要性

ボランティア活動の場合、あくまでも自発的な活動であり翻訳力が担保されているわけではない。本学での活動では、言語別にチームを作りネイティブチェックを含め相互にチェックし合う仕組みで翻訳が行われた。正確性が担保できないと思われる内容については、翻訳しないという選択を行うチームもあった。一方、少人数の言語チームでは翻訳に時間がかかり迅速性には課題が残った。

5 日常活動の重要性

震災で初めて参加するという人は多数いたが、活動の中心的役割を担ったのは日常の活動を行っているメンバーであった。緊急時に即応体制を作るためには平常時の経験の蓄積があってこそスムーズな活動ができる。

6 専門的人材の必要性

- ・災害時には正確で迅速な翻訳が求められるが故に、高い語学力(翻訳力)を有する人材群が求められた。
- ・災害時には組織をコーディネートできる立場と力量、ボランティアを募り協働での即応体制をつくり、さらに通常業務を抱えながら参加しているボランティアがボランティアマインドを維持しつつ活動を継続できるようにコーディネートする力量が求められた。

Ⅲ-11. 学生震災ボランティア活動の推進

(地震緊急対策本部委託/学生後援会助成)

(1) 震災ボランティア講習会の開催

	日程	参加人数
第1回	4月28日(水)	62人
第2回	5月19日(木)	29人
第3回	6月29日(水)	58人

*5月24日～26日:

プロジェクトコーディネーターによる現地調査(石巻市における学生ボランティア受け入れの可能性調査)

(2) 学生震災ボランティア送り出し (学生参加人数:44人)

	送り出し期間	参加人数	報告会・オリエンテーション (参加人数)
1	7月25日(月)～28日(木)	6	10/12 (24)
2	10月21日(金)～24日(月)	4	10/27 (13)
3	11月4日(金)～7日(月)	7	11/10 (20)
4	11月20日(日)～23日(水)	5	11/25 (14)
5	12月2日(金)～5日(月)	6	12/9 (14)
6	12月16日(金)～19日(月)	7	2/14 (10)
7	12月23日(金)～26日(月)	5	
8	1月13日(金)～16日(月)	4	

*10月に学生震災ボランティアチーム「tufsteam-for-3.11」が立ち上がり、
11月以降は「tufsteam-for-3.11」の自主的活動として支援

(3) 多文化社会実践研究・全国フォーラムランチタイムセッションで発表 発表者:学生6人

(4) 留学生日本語教育センター・震災プロジェクトに参加 述べ人数:学生9人

留日センターが実施している「留学生のための震災プロジェクト」に震災ボランティアとして活動した
学生が参加

活動日:11月16日、11月30日、12月13日、12月20日、1月17日

(5) 学生自主企画「震災ボランティア活動パネル展示」12月～3月(ガレリア)

(6) 学生自主企画「子どもとの活動におけるリスクマネジメント講演会」

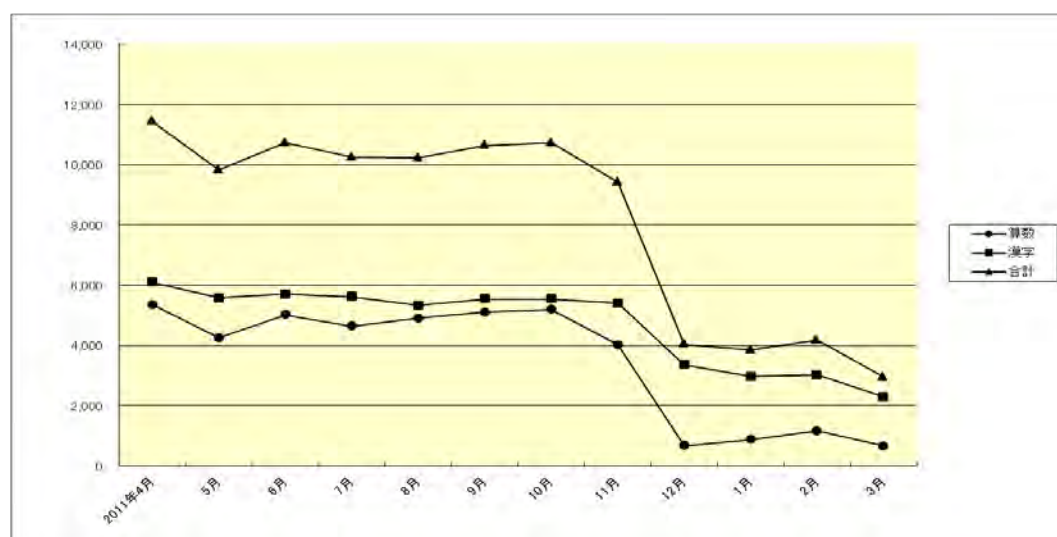
12月21日(水) 参加人数:12人

外国につながる子どもたちのための教材開発

Ⅲ-12. 各教材ダウンロード数 (月別、2012年3月末現在)

【在日ブラジル人児童のための教材】

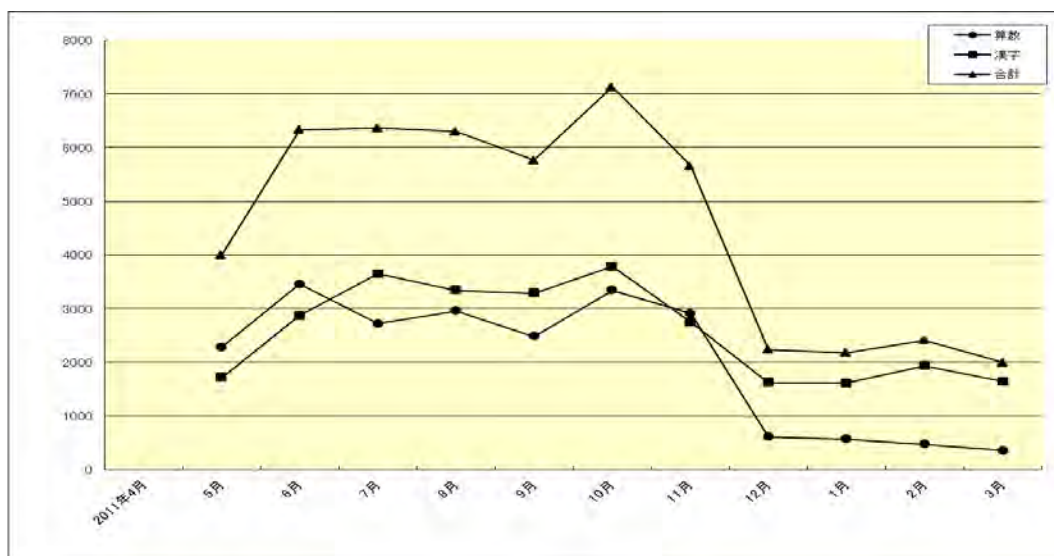
	2011年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
算数	5,354	4,254	5,018	4,639	4,902	5,100	5,187
漢字	6,089	5,576	5,706	5,617	5,328	5,540	5,537
合計	11,443	9,830	10,724	10,256	10,230	10,640	10,724
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
算数	4,019	672	878	1,160	662	41,845	
漢字	5,407	3,360	2,968	3,018	2,285	56,431	
合計	9,426	4,032	3,846	4,178	2,947	98,276	



※2011年12月1日よりダウンロード数カウントプログラムを Futomi から GoogleAnalytics に変更した。これに伴い、ダウンロード数のカウントの定義が変わり、これまで複数回のダウンロード数とカウントされていたものが1回のダウンロード数とされているため、12月からのダウンロード数が少ない値になっている。

【在日フィリピン児童のための教材】

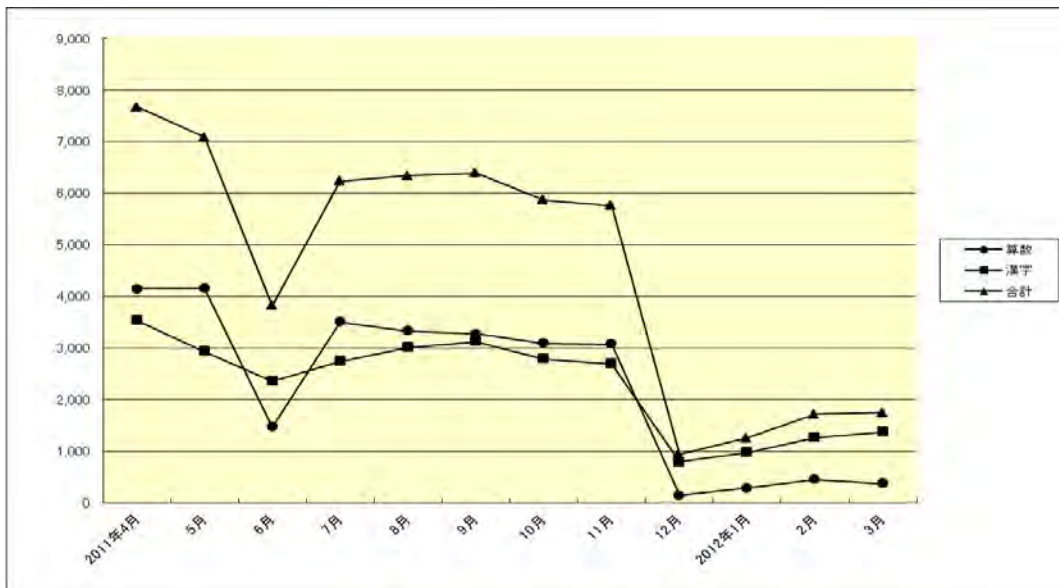
	2011年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
算数	—	2,284	3,458	2,716	2,958	2,477	3,339
漢字	—	1,718	2,869	3,647	3,339	3,288	3,786
合計	—	4,002	6,327	6,363	6,297	5,765	7,125
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
算数	2,907	611	570	474	354	22,148	
漢字	2,745	1,622	1,611	1,937	1,641	28,203	
合計	5,652	2,233	2,181	2,411	1,995	50,351	



※2011年12月1日よりダウンロード数カウントプログラムを Futomi から GoogleAnalytics に変更した。これに伴い、ダウンロード数のカウントの定義が変わり、これまで複数回のダウンロード数とカウントされていたものが1回のダウンロード数とされているため、12月からのダウンロード数が少ない値になっている。

【南米スペイン語圏出身児童のための教材】

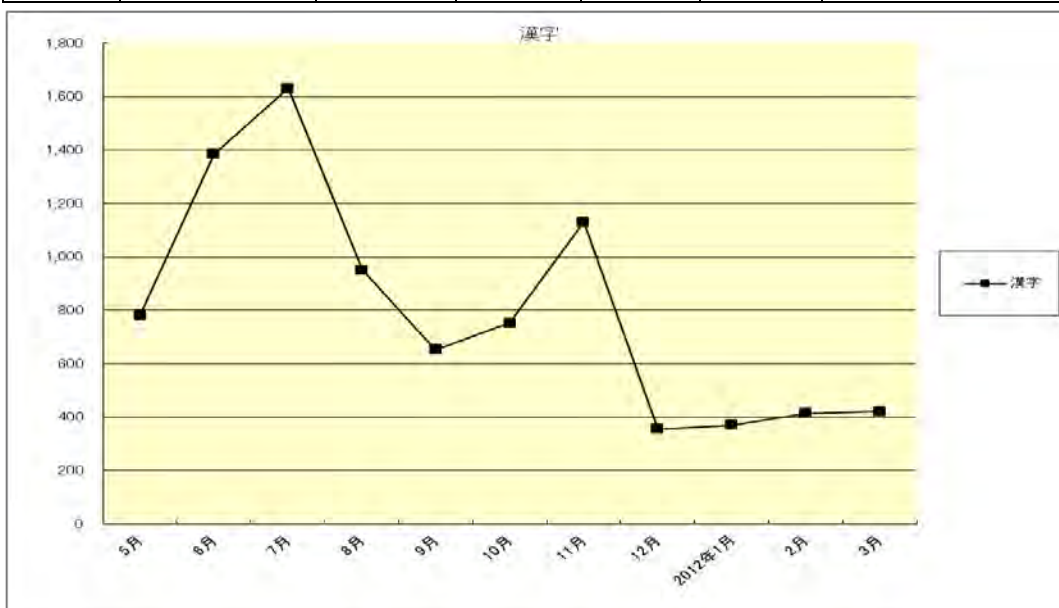
	2011年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
算数	4,141	4,147	1,462	3,499	3,327	3,270	3,086
漢字	3,529	2,931	2,356	2,734	3,010	3,117	2,781
合計	7,670	7,078	3,818	6,233	6,337	6,387	5,867
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
算数	3,068	143	281	453	372	27,249	
漢字	2,688	792	970	1,261	1,372	27,541	
合計	5,756	935	1,251	1,714	1,744	54,790	



※2011年12月1日よりダウンロード数カウントプログラムを Futomi から GoogleAnalytics に変更した。これに伴い、ダウンロード数のカウントの定義が変わり、これまで複数回のダウンロード数とカウントされていたものが1回のダウンロード数とされているため、12月からのダウンロード数が少ない値になっている。

【ブラジル人向け自習用漢字教材】

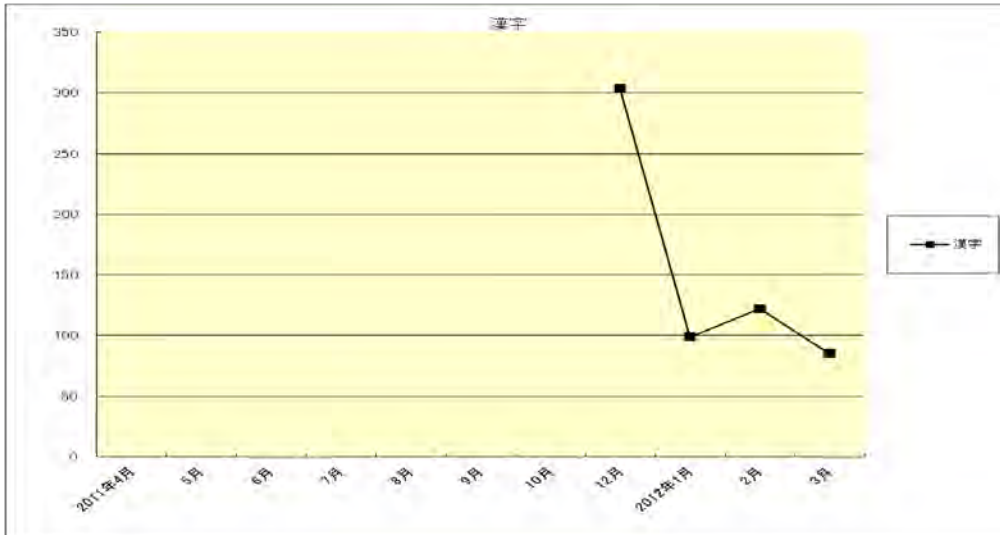
	2011年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	—	780	1,385	1,631	951	652	752
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	1,130	355	370	413	421	8,840	



※2011年12月1日よりダウンロード数カウントプログラムを Futomi から GoogleAnalytics に変更した。これに伴い、ダウンロード数のカウントの定義が変わり、これまで複数回のダウンロード数とカウントされていたものが1回のダウンロード数とされているため、12月からのダウンロード数が少ない値になっている。

【ベトナム出身児童のための教材（1年生担当漢字）】

	2011年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
漢字	—	—	—	—	—	—	—
	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
漢字	—	303	99	122	85	609	



ダウンロード数 推移

期間：2007年4月20日から2012年3月31日まで

		2007年度		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	合計
		4月20日～5月31日	7月1日～08年3月31日	4月1日～09年3月31日	4月1日～10年3月31日	4月1日～11年3月31日	4月1日～12年3月31日	
在日ブラジル人児童のための教材	漢字	9,989	52,885	110,013	97,940	51,975	56,431	624,657
	算数		21,924	71,887	64,661	45,107	41,845	245,424
	小計		84,798	181,900	162,601	97,082	98,276	870,081
在日フィリピン人児童のための教材	漢字				1,344	17,987	28,203	47,534
	算数			12,795	21,654	21,654	22,148	78,251
	小計			12,795	22,998	39,641	50,351	125,785
南米スペイン語圏出身児童のための教材	漢字				1,845	19,849	27,541	49,235
	算数					2,584	27,249	29,833
	小計				1,845	22,433	54,790	79,068
ベトナム出身児童のための教材	漢字**						609	609
ブラジル人向け自習用漢字教材	漢字						8,840	8,840
合計		84,798		194,695	187,444	159,156	212,866	838,959

*2007年4月、5月分は教材毎の区別がされていない。

**2011年12月公開のため、2011年12月からの集計となっている。

Ⅲ-13. 教材見本の作成・配布

発行	教材名	印刷部数	配付先
2012年3月	ベトナム出身児童のための漢字教材 「1年生配当漢字(チュウハンラバン80kanji)」	500	2012年4月以降 配布予定

【IV. 広報活動】

IV-1. メールマガジン発行状況

No	発行日	No	発行日	No	発行日
1	2011年4月8日	臨時	7月20日	12	12月14日
2	4月15日	7	9月20日	13	2012年1月17日
3	4月28日	8	9月28日	臨時	2月3日
4	5月16日	9	10月17日	臨時	2月9日
臨時	6月9日	10	11月4日	14	3月2日
5	6月13日	号外	11月18日		
6	7月4日	11	12月2日		

IV-2. 新聞・雑誌掲載関連記事一覧

掲載日	媒体名	見出し
2011年4月1日	週間ST	東日本大震災 多言語情報提供
5月13日	信濃毎日新聞	多文化共生、4年間の研究記録
5月25日	朝日新聞	被災外国人を翻訳・通訳で支援
6月1日	月刊ニック・ニュース	平時のつながりを災害時に生かす
7月1日	国際人流7月号	日常の活動やネットワークを活かして 災害情報を多言語で提供
8月20日	通訳・翻訳キャリア ガイド2012	多言語の情報提供を可能にした外国語大 学ならではの人的ネットワーク
10月1日	ボランティア情報 No.413	外国人住民と地域で「共に暮らす」た めに
12月9日	河北新報	被災外国人の支援充実を

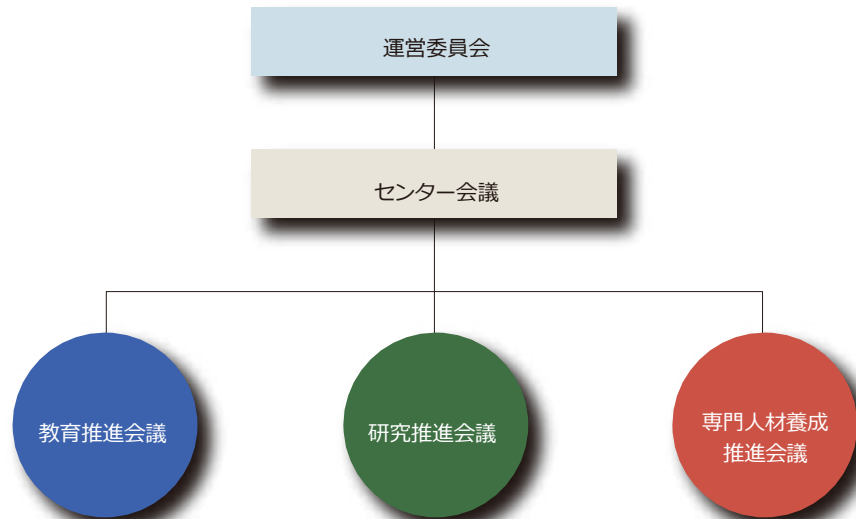
IV-3. テレビ・ラジオ出演

出演日	放送局・番組名	番組名
2012年3月1日	NHK ラジオ第1放送 「私も一言! 夕方ニュース」	「災害発生! 外国人をどう支 えるか?」

【V. センターの運営】

V-1. 多言語・多文化教育研究センター運営体制

多言語・多文化教育研究センター 組織図



V-2. センター会議 開催状況

	開催日		開催日
第1回	2011年4月14日	第8回	2011年9月26日
第2回	4月15日	第9回	10月3日
第3回	5月6日	第10回	10月21日
第4回	5月11日	第11回	12月26日
第5回	5月31日	第12回	1月20日
第6回	7月7日	第13回	2月23日
第7回	8月31日	第14回	3月19日

※会場はいずれもセンター会議室

V-3. 運営メンバー

● 運営委員会

宮崎 恒二	理事
青山 亨	センター長 総合国際学研究院教授
村尾 誠一	総合国際学研究院長 教授
藤井 守男	外国語学部長 総合国際学研究院教授
武田 千香	副センター長 学長特別補佐 総合国際学研究院准教授
杉澤 経子	多言語・多文化教育研究センター プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
佐伯 季之	教務課長
伊東 祐郎	留学生日本語教育センター長 教授
鈴木 義一	外国語学部副学部長 総合国際学研究院教授

● センター会議

青山 亨	センター長 総合国際学研究院教授
武田 千香	副センター長 学長特別補佐 総合国際学研究院准教授
杉澤 経子	多言語・多文化教育研究センター プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)

● プログラム別推進会議

教育会議

青山 亨	センター長 総合国際学研究院教授
武田 千香	副センター長 学長特別補佐 総合国際学研究院准教授
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)
受田 宏之	総合国際学研究院 准教授
大川 正彦	総合国際学研究院 教授
篠原 琢	総合国際学研究院 教授

研究会議

青山 亨	センター長 総合国際学研究院教授
武田 千香	副センター長 学長特別補佐 総合国際学研究院准教授
杉澤 経子	多言語・多文化教育研究センター プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)
伊東 祐郎	留学生日本語教育センター長 教授
受田 宏之	総合国際学研究院 准教授
鶴田 知佳子	総合国際学研究院 教授
藤井 毅	総合国際学研究院 教授

専門人材養成会議

青山 亨	センター長 総合国際学研究院教授
武田 千香	副センター長 学長特別補佐 総合国際学研究院准教授
杉澤 経子	多言語・多文化教育研究センター プロジェクトコーディネーター (センター研究員)
長谷部美佳	特任講師 (センター教員)
内藤 稔	特任講師 (センター教員)
鶴田 知佳子	総合国際学研究院 教授
藤井 毅	総合国際学研究院 教授